

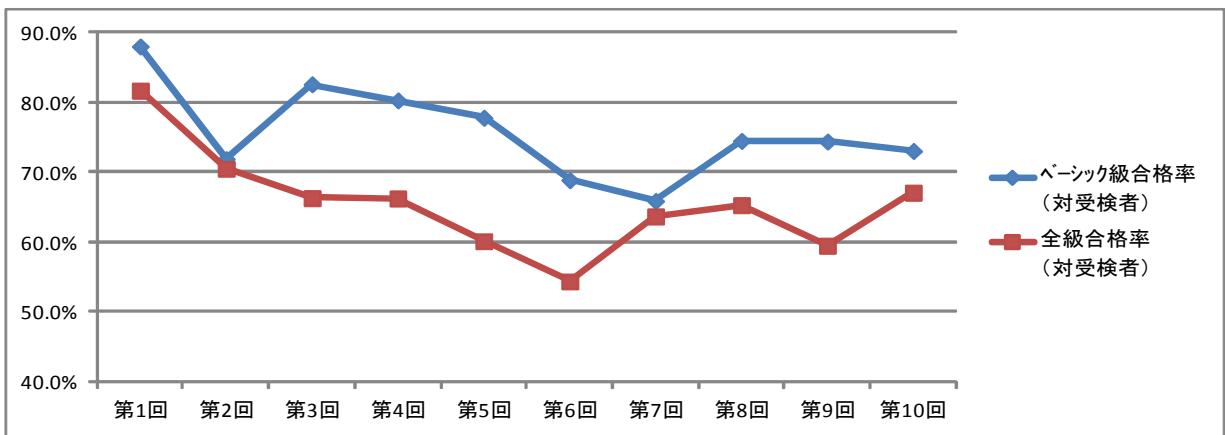
# ベーシック級

## 【6】ベーシック級の傾向とアドバイス

例年、多くの若手社員（新入社員～入社3年目）の方が受検しているベーシック級ですが、今回も4人中3人という多くの方がみごとに合格しています。

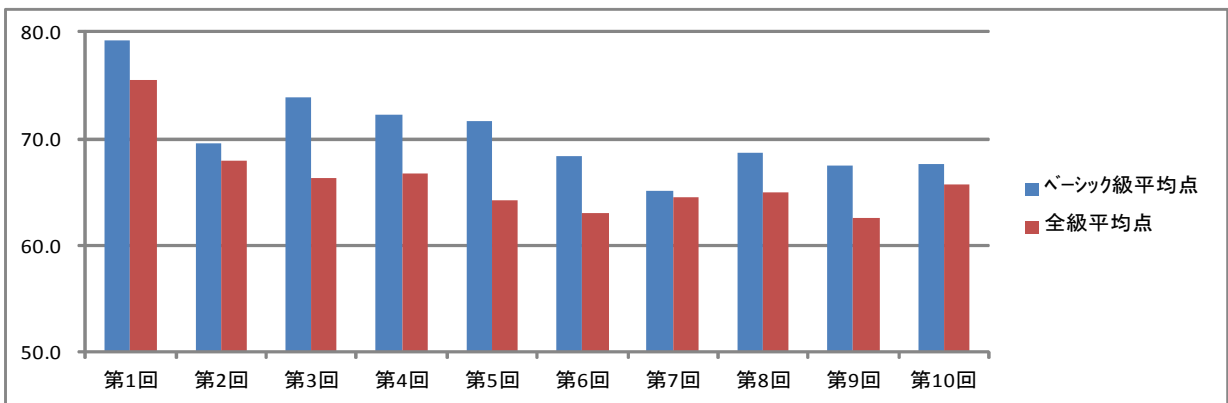
ベーシック級は、社会人としての意識「役割」、そして知識「品質、コスト、納期・生産管理、安全・環境」を習得し、さらに知恵や技術・技能を高めることをねらいとしていますので、「生産全体の基礎知識の習得」⇒「QCDと4Mを学び、自工程⇒ライン全体 ⇒ 工場全体へと視野が広がる」、「改善ポイントの理解 ⇒ 実際の改善効果がアップ」が期待できるでしょう。なお、残念な結果に終わった方も大丈夫です。後述するアドバイスを参考にして、ぜひ再チャレンジをはかってください。

### ●ベーシック級の合格率<未認定者含む、第1回は1級と2級未実施>



ベーシック級	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
申込者数	111	200	309	447	285	573	499	762	458	565
受検者数	108	192	305	446	279	572	484	737	442	527
合格者数	95	138	252	358	217	394	319	549	329	385
合格率 (対受検者)	88.0%	71.9%	82.6%	80.3%	77.8%	68.9%	65.9%	74.5%	74.4%	73.1%

### ●ベーシック級の平均点<第1回は1級と2級未実施>



	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
ベーシック級平均点	79.2	69.6	73.8	72.2	71.6	68.3	65.1	68.6	67.5	67.7
全級平均点	75.5	67.9	66.3	66.8	64.2	63.0	64.5	65.0	62.6	65.7

●ベーシック級の主な出題内容

単位	出題内容(章、節)
<第1単位テキスト> <b>■役割</b> (計11節)	<b>●第1章 企業の社会性と役割 ～ 第3章 仲間づくりと人間関係</b> ・生産が築く豊かな社会、生産活動の目的、製品がお客さまに届くまで ・現場の仕事 ・働きがいのある職場づくり、問題意識が職場環境を良くする、上手なコミュニケーションを図ろう、小集団活動で行う問題解決
<第1単位テキスト> <b>■コスト</b> (計9節)	<b>●第4章 コストとは何か ～ 第6章 コスト低減の進め方</b> ・コストの種類、コストを下げる必要性、ものづくりに必要な作業とは ・人の作業ロス、設備のロス、材料のロス ・改善の手順、日常業務の注意点
<第2単位テキスト> <b>■品質</b> (計16節)	<b>●第1章 良い品質とは ～ 第4章 不良低減の進め方</b> ・生産における品質、品質管理とは ・作業の5要素と不良、材料の管理、機械設備の管理、人が品質を左右する、測定の管理 ・許されない不良品の混入、混入防止に必要な品質意識、混入防止に必要な自主チェック、混入防止に必要な検査 ・不良低減のねらいと進め方、小集団活動への参加、不良を低減するための基礎知識
<第3単位テキスト> <b>■納期・生産管理</b> (計6節)	<b>●第1章 まず納期を守ろう ～ 第2章 事前準備で納期を守る</b> ・計画はお客さまと工場を結ぶ“かなめ”、納期を守るには、大切な生産計画、作業計画は現場の時刻表 ・作業計画ができるまで、計画を立てる難しさ
<第3単位テキスト> <b>■品質</b> <b>■納期・生産管理</b> <b>■コスト</b> (計4節)	<b>●第3章 作業の瞬間で決まる品質・納期・コスト</b> ・仕事の順番を守ろう ・計画と進み具合の確認
<第3単位テキスト> <b>■安全・環境</b> (計5節)	<b>●第4章 職場の安全管理 ～ 第5章 企業と環境問題</b> ・安全管理とは、安全管理の基本、安全管理に関する法規制 ・企業が抱える環境問題とは、工場の中の環境問題

①出題の意図

・テキストのほとんどから出題

生産マイスターベーシック級の問題は、新入社員（会社によっては内定者）の方も対象となるため、基本的なことからはじまっています。具体的には、社会人の出発点といってもよい内容も含まれるため、社会人の常識である企業の役割や会社の仕組みの問題が含まれていたり、初めて聞くような生産に関する言葉や用語もあります。そのため、通信教育テキスト第1単位～第3単位までの計3冊、計15章、計51節の構成のうちほとんどといってもよい42節分から出題されています。まさに「浅く広く」となっています。「基本は無敵」ともいわれていますので、基本を確実にマスターして、応用編へと進んでいただきたいと思います。

## ・「ものづくりのプロ」をめざす 60 問

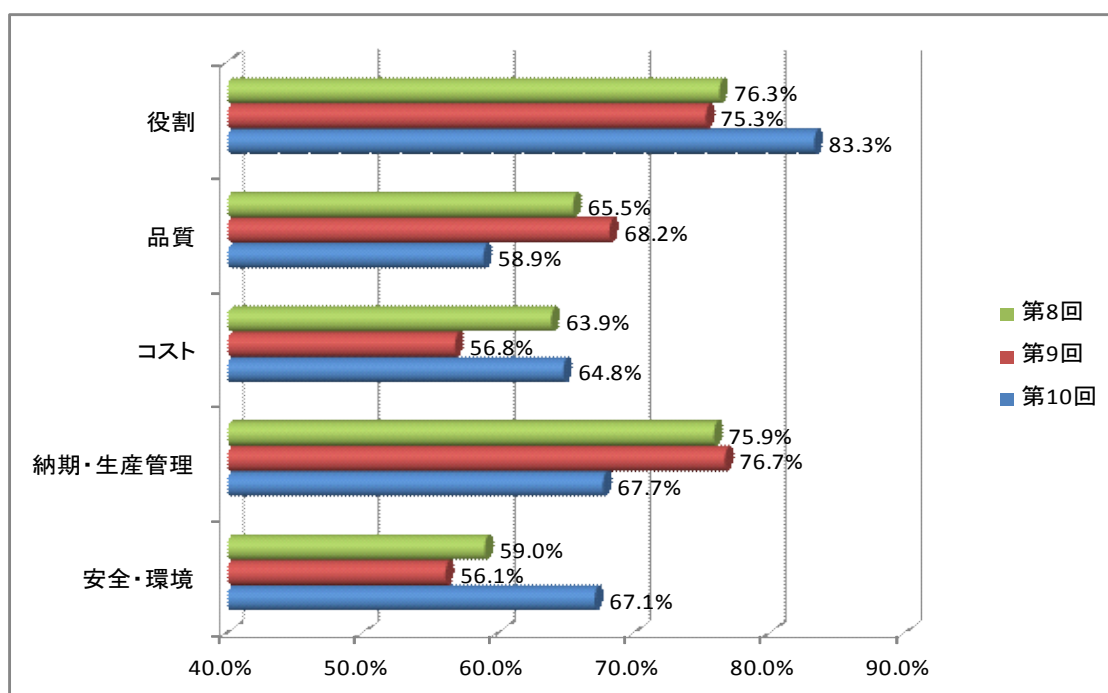
前記のとおり、ベーシック級は生産全体の基礎知識を問う内容のため、全級の中でも、「役割、品質、コスト、納期・生産管理、安全・環境」の5分野がほぼ均等になっており、そのため問題数は60問と、多くなっています。この60問は、生産に携わる人としての心がまえや姿勢、生産にかかわる基本的な用語の理解、基本的な改善手法、安全の重要性など、まさに生産現場の入門編です。

たとえば、『役割：現場の仕事』では「直接的に価値を生む作業の種類」や「KYT（危険予知トレーニング）」、「機械の異常が発生した際にとるべき行動」、『納期・生産管理：計画を立てる難しさ』では「作業配分と作業指示」や「作業計画・指示のシステム化」、『安全・環境：企業が抱える環境問題とは』では「典型7公害」や「温室効果ガス」が問われています。これらについて、一步一步、正確に理解していただき、ものづくりのプロ＝生産マイスターへの第一歩を進んでいただきたいと思います。

分野	問題数	配点
■ 役割	12	19
■ 品質	14	24
■ コスト	13	27
■ 納期・生産管理	12	17
■ 安全・環境	9	13
計	60	100

## ②結果から見てきた弱点

### ・分野別得点率



・得点率が低い項目

分野	弱点項目																					
■役割	<p>●得点率 83.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の値段と(価格)とコスト</li> </ul>																					
■品質	<p>●得点率 58.9%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質の維持管理とは</li> <li>・PMとは(予防保全、または生産保全)</li> <li>・不良防止とは</li> <li>・測定の区分(測定と検査)</li> <li>・パレート図とは(QC七つ道具)</li> </ul>																					
■コスト	<p>●得点率 64.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売れるための3つの条件(なぜ安く売れるのか)</li> <li>・編成ロスの計算</li> </ul> <p>コンベヤ作業の編成ロス(手待ち時間の合計) = 0.5 + 1.5 + 0.0 + 2.0 + 1.0 + 0.5 = 5.5</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>No.1</th> <th>No.2</th> <th>No.3</th> <th>No.4</th> <th>No.5</th> <th>No.6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間</td> <td>4.5</td> <td>3.5</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コストダウンテーマの考え方</li> <li>・現状分析手法(タイムスタディ、ワークサンプリング、工程分析、連合作業分析、ライン作業分析、パレート図)</li> </ul>	工程	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	時間	4.5	3.5	5.0	3.0	4.0	4.5	人数	1	1	1	1	1	1
工程	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6																
時間	4.5	3.5	5.0	3.0	4.0	4.5																
人数	1	1	1	1	1	1																
■納期・生産管理	<p>●得点率 67.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原単位とは(納期を守るには)</li> <li>・能力対策とは(負荷調整、日程調整の方法)</li> <li>・作業計画・指示のシステム化</li> <li>・仕事の優先順位(優先順位は重要な約束ごと)</li> </ul>																					
■安全・環境	<p>●得点率 67.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働安全衛生法の3つの要件</li> <li>・安全管理者とは(安全衛生管理体制)</li> <li>・公害対策基本法における典型7公害</li> </ul>																					

・1級～3級へのベースづくりを！

「品質」はものづくりのうえでの基本です。まず、生産現場の作業の基本となる品質規格や標準をおさえ、品質と品質管理に関する考え方と定義、品質とコストの関係を学習し、さらに日ごろの業務と照らし合わせながら、不良品の発生防止、不良低減、QC七つ道具の理解を深めることが大切です。

また、ベーシック級の「コスト」の計算問題は、1級～3級に比べると易しい内容です。ここをきちんと自分のものにしておくことが、1級～3級＝管理者層～グループリーダー層への道につながります。

その他として、5S活動、上手なコミュニケーション、小集団活動、ハインリッヒの法則、環境に関する法律など、覚えることはかなり多いですが、ここを完全にマスターしなければ「ものづくりのプロ」にはなれません。確実に理解して、将来のベースにさせていただきたいと思います。